

6. 今後の進め方

ポイント

- ① 毎年度、連絡協議会を開催し、すべての取組項目の進捗状況を把握し、PDCAサイクルにより推進します。
- ② 当地区再生への取組みは、本市全体の活性化に向けたモデルとして全市波及をめざします。
- ③ 各取組みの推進にあたり、連絡協議会と狭山ニュータウンの未来を育むプロジェクト推進会議が当地区再生、活性化の両輪として連携して取り組みます。

7. 狭山ニュータウン地区の将来イメージ

再生推進計画の取組みにより活性化指針がめざすまちづくりが進んでいます。

将来イメージ1 子育て世代に選ばれ、多様な世代が集うまちづくりが進んでいます。

子育て世代をはじめ若い人たちに選ばれるまちです

教育・子育て環境が整っている住み続けたいまちです

地域の人々が子供たちの登下校を見守ってくれます



将来イメージ2 にぎわいやふれあいのあふれるまちづくりが進んでいます。

空き家や空きスペースが起業にも活用されています

公共交通網の再整備が進んでいます

幅広い世代の人々が交流し、活気があふれています



将来イメージ3 新しいサービス等により日常生活を支え合うまちづくりが進んでいます。

いくつになっても誰もが自分らしく生活できるまちです

見守りや防犯対策が充実した安全で安心なまちづくりがすすんでいます

健康管理等タブレットを使った新しいサービスがはじまっています



将来イメージ4 公園、緑地の多様な活用等、魅力ある都市空間が形成されています。

今週はマルシェ来週はウォーキング、公園が色々と活用されています

様々な人が公園でお店を出しています

みんなの力でいつもきれいな公園です



狭山ニュータウン 地区再生推進計画

概要版

～「狭山ニュータウン地区活性化指針」アクションプラン～



1. 狭山ニュータウン地区再生推進計画とは

狭山ニュータウン地区再生推進計画（以下「再生推進計画」という。）は、平成31年（2019年）3月に策定した「狭山ニュータウン地区活性化指針」（以下「活性化指針」という。）のアクションプラン（実施計画）として、大阪狭山市狭山ニュータウン地区再生連絡協議会（以下「連絡協議会」という。）等からご意見を得て、令和4年（2022年）2月に策定しました。

ポイント

- ① 市、住民等及び事業者の役割分担を明確にして、その3主体の連携により、取組みを進めます。
- ② 3主体（市、住民等、事業者）の連携が特に重要な取組項目を9つの重点取組として設定します。
- ③ 9つの重点取組を効果的・効率的に進めるための視点として4つの戦略を設定します。
- ④ 9つの重点取組を組み合わせ、4つのシンボルプロジェクトを設定します。
- ⑤ 毎年度、すべての取組項目の進捗状況を把握し、PDCAサイクルにより推進します。

2. 大阪狭山市狭山ニュータウン地区再生連絡協議会とは

住民、学識経験者、地域活動団体・関係機関の代表者の参画を得て、再生推進計画について検討を行うとともに、各取組みが効果的に推進されるよう、進捗状況等についての情報共有や各取組主体間の協議調整の場を提供する等の役割を担っています。

ポイント

- ① 近畿大学や南海電気鉄道株式会社、南海バス株式会社、大阪第一交通株式会社といった各種事業者も参画しています。
- ② 連絡協議会は、市長の附属機関として設置しており、議事概要を公表しています。
- ③ 再生推進計画を策定後も、毎年度、連絡協議会を開催して、進捗状況を確認し、意見交換します。

大阪狭山市 政策推進部 企画グループ

〒589-8501 大阪狭山市狭山一丁目 2384 番地の1
TEL 072-366-0011 FAX 072-367-1254 E-mail kikaku@city.osakasayama.osaka.jp

3. 狭山ニュータウン地区再生推進計画の4つの施策と9つの重点取組

- ポイント
- ① 活性化指針の取組項目を4つの施策に再整理します。
 - ② 市・住民等・事業者の3主体の連携が特に重要な取組項目を9つの重点取組として設定します。

施策1 生活環境の充実による再生（継続した取組み）

- ・妊娠・出産包括支援事業等の充実
- ・子育て中の親への支援
- ・教育環境の整備
- ・地域ぐるみの青少年健全育成
- ・地域への愛着と誇りの醸成
- ◎地域包括ケアシステムの構築
- ・生きがいづくりや健康づくりの推進
- ・安全・安心で、環境に配慮した住宅の普及
- ・道路等の計画的な維持管理、バリアフリー化の推進
- ◎ニーズの多様化に対応した公園の再整備と活用
- ◎緑のネットワーク（回廊）の形成
- ・自主的な防災活動の促進
- ・防犯対策の充実強化

施策2 魅力発信と転入者等の呼び込みによる再生（短期～中長期）

- ◎地区の魅力情報の発信
- ・住み替えや転入希望者への支援
- ・多様な住まいの供給・流通の促進
- ・地区内の施設を活用したイベントの開催
- ◎空き家対策の推進
- ◎公共交通網の再整備

施策3 新たなサービス機能の導入等にぎわいづくりによる再生（中長期）

- ◎地区内の空きスペースの有効活用
- ・地域活動団体の交流の促進
- ・周辺地域との交流の促進
- ◎新たなサービス機能の誘導
- ◎にぎわいのある商業・サービスゾーンの形成

施策4 近畿大学病院等の移転後の敷地整備等による再生（中長期）

- ・近畿大学病院等の移転への対応
- ・帝塚山学院大学狭山キャンパス跡地の開発協議等（新規）
- ・府営住宅ストック活用計画との連携（新規）

◎：9つの重点取組

4. 重点取組を効果的・効率的に進める戦略

- ポイント
- 重点取組を効果的・効率的に推進するための視点として4つの戦略を設定します。

- 戦略1 当地区の再生が幅広く周知、認識される戦略
- 戦略2 当地区の再生に多くの住民等が参画しやすい戦略
- 戦略3 当地区の再生を多くの住民等が実感できる戦略
- 戦略4 当地区の再生を効果的・効率的に推進する戦略



5. シンボルプロジェクトの概要

- ポイント
- 9つの重点取組を組み合わせて、4つのシンボルプロジェクトを設定します。

地域ポータルサイトとの連携による魅力情報の発信強化

市に密着した地域ポータルサイトとの連携により、当地区の魅力情報の発信力を効果的・効率的に強化します。

地域ポータルサイトの事例（大阪狭山びこ）



出典：大阪狭山びこ HP

1

市民協働・公民連携による公園・緑地の魅力向上活動の促進

市民協働・公民連携のもとで住民等が主体となった公園等を活用した地域のイベントを、事業者の協力を得て、広域イベントと連携し、毎年1回程度開催することをめざします。



2

空きスペース等を活用したにぎわい空間づくり

空き店舗や公共空間を活用して交流空間を確保するとともに、府営住宅ストック活用計画の進捗状況を踏まえ、センター地区を含めたにぎわい空間の形成に取り組みます。



3

地域包括ケアシステムの推進に寄与するスマートシニアライフ実証事業との連携

地域包括ケアシステムの推進につながるよう、大阪府が公民連携事業として実施するスマートシニアライフ実証事業との連携に取り組みます。

スマートシニアライフ事業について



出典：大阪府

連絡協議会の構成

- 市民
- ・市民委員（2名）
- 識見を有する者
- ・大阪府立大学 名誉教授
 - ・近畿大学 教授

関係団体

- ・特定非営利活動法人南中学校区円卓会議
- ・大阪狭山市地区長会
- ・大阪狭山市商工会
- ・大阪狭山市民生委員児童委員協議会
- ・大阪狭山市青少年指導員会
- ・社会福祉法人大阪狭山市社会福祉協議会

関係事業者

- （令和4年（2022年）2月現在）
（順不同）
- ・南海電気鉄道株式会社
 - ・南海バス株式会社
 - ・大阪第一交通株式会社
 - ・近畿大学医学部・病院運営本部
- 関係行政機関
- ・大阪都市計画局、大阪府建築部